

茎数急増中！中干しを徹底！

出穂期は早まる見込み。極早生・早生品種は適期に穂肥施用

- 茎数が多く、生育過剰が懸念されます。中干しを継続しましょう。
- 出穂期は3日程度早まる見込みです。極早生・早生品種は遅れずに1回目の穂肥を施用しましょう。

1 コシヒカリ生育概況（6月19日調査）【稲姿】草丈：長、茎数：やや多

草丈…	39	cm	(指標比	115	%、	長)
茎数…	378	本/m ²	(同上	108	%、	やや多)
葉色…	40.7	(葉緑素計)	(指標差 +	3.2	、	濃)
葉数…	8.9	葉	(同上 +	0.6	葉、	やや早)

- 稲姿はやや大型で、生育はやや進んでいます。
- 茎数が多い状態のため、中干しを継続しましょう。

2 気象予報（新潟地方气象台・6月19日発表）

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。
- こまめに水分補給し、熱中症に気を付けましょう。

3 当面の対策

(1) 中干し程度

中干しの強さは小ヒビが入る程度とし、出穂1か月前までを目安に終了しましょう。

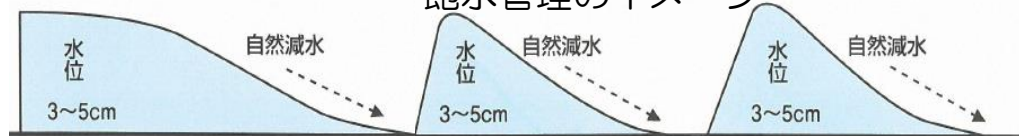


切った溝のタテ溝とヨコ溝の連結、水口と水尻とのつながりを確認しましょう。



(2) 中干し後の水管理（飽水管理）

飽水管理のイメージ



中干し終了後は、間断かん水から徐々に飽水管理に移行し、うわ根の発生促進や根の健全化に努めましょう。

足跡に水がたまっている状態になったらかん水する。



(3) 斑点米カメムシ類対策

◎ 草刈り重点推進期間です。

特にイネ科雑草に注目して畦畔・農道の計画的な草刈りを実施しましょう。

4 予想出穂期と穂肥施用

出穂期は平年より3日程度早まる見込みです。極早生・早生品種は間もなく幼穂形成期を迎えるので、幼穂を確認し、適期に1回目穂肥を施用しましょう。

(1) 出穂期予想

表1 品種別出穂期と穂肥時期のめやす(分施肥体系)

品種名	予想出穂期	穂肥時期	
		1回目	2回目
ゆきん子舞	7/21	6/26~6/28	7/7
つきあかり	7/21	6/26~6/28	7/7
こしいぶき	7/23	6/30	7/9
コシヒカリ	8/2	7/15~7/18	7/23
新之助	8/8	7/18~7/21	7/27~7/29
五百万石	7/19	6/29	7/7
わたぼうし	7/20	6/28~6/30	7/8~7/10
こがねもち	7/27	7/9~7/12	7/17

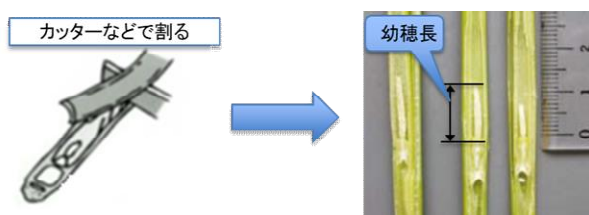
※コシヒカリと、こがねもちは5月10日頃移植、その他品種は連休移植で予想したものです。

※出穂期は、地域やほ場、田植え時期、生育期間の気象等により異なるとともに、今後の気象等により変動します。今後の生育速報等を注視してください。

※生育診断を必ず行い、穂肥時期と施肥量を決定すること。

※表1に記載した穂肥時期(出穂期前日数)は、化成肥料の使用を前提とした時期です。有機質肥料や有機質入り肥料の場合は、これより数日早めに施用します。

【出穂前日数の推定方法】



※幼穂は、生育が平均的な株から主稈を採取し、最低3本以上を測定する。
 ※採取する茎は最低1m以上畦畔から入り、水口、水尻付近をさける。

出穂前日数と幼穂長

出穂前日数	30日	24日	20日	18日	12日	10日	8日
幼穂長(mm)	0.2	1	2~4	5~10	40~60	80~110	170

(2) 穂肥時期と施肥量のめやす

表2 品種別穂肥時期と施肥量のめやす(分施肥体系)

品種名	1回目穂肥窒素量 (kg/10a)	2回目穂肥窒素量 (kg/10a)	穂肥時期(出穂期前日数)		ポイント
			1回目	2回目	
ゆきん子舞	3~4	2~3	25~23	14	
つきあかり	3~4	2~3	25~23	14	
こしいぶき	1~1.5	1~1.5	23	14	
コシヒカリ	1~1.5	1~1.5	18~15	10	生育診断を行い施肥時期や施肥量を判断する。
新之助	0.5~1.5	0.5~1.5	21~18	12~10	
五百万石	1回目、2回目合計で1~2		20	12	1回目を重視する。
わたぼうし	1~1.5	1~1.5	22~20	12~10	
こがねもち	1~1.5	1~1.5	18~15	10	生育過剰な場合は1回施用とする。

※表2に記載した穂肥時期(出穂期前日数)は、化成肥料の使用を前提とした時期です。

有機質肥料や有機質入り肥料の場合は、これより数日早めに施用します。

高温気象が予想されているため、分施では3回目の穂肥、全量基肥では追肥の準備をしておきましょう。

【次回は6月30日に水稻生育速報No. 4を発行予定】

【新発田地域水稻生育速報LINE登録募集中です！】

○LINE公式アカウントを開設しています。

10月までの期間、新発田地域の稲麦大豆栽培に関わる情報を発信します。

なお、メールマガジンは、LINE情報に統合しましたので、ご了承ください。

登録はこちら →

